



防衛省防衛研究所主催

平成26年度 戦争史研究国際フォーラム

「統合及び連合作戦の歴史的考察」



アジア太平洋地域における戦略環境が大きく変化する中、我が国においても昨年、「防衛計画の大綱」が改訂され、従来からの「日米同盟の強化」に加え、「統合機動防衛力の構築」がうたわれる等、統合及び連合作戦に対する関心が高まりつつあります。

また、平成26年は第一次世界大戦勃発100周年という節目を迎え、戦場となった欧州はもとより、米国、オーストラリア等の各参戦国においても同大戦に対する関心が高まっています。同大戦は近代における統合及び連合作戦の幕明けとなった事例ですが、その後も第二次世界大戦を経て、近年の湾岸戦争等に至るまで、統合及び連合作戦は戦争の帰趨を決定づける重要な要素の一つとなっています。

そこで、平成26年度はテーマを「統合及び連合作戦の歴史的考察」とし、第一次世界大戦以降、関係各国、各軍がこの命題にどのように取り組んできたのか、また、実際の戦場ではどのような問題が生じ、どうやってそれを克服してきたのか等について、歴史的視点から分析、考察することにより、現代の安全保障、防衛問題に適切に対応するための示唆を得ることを目的としています。



基調講演



折木 良一
防衛大臣政策参与

第3代統合幕僚長。第30代陸上幕僚長。統合幕僚長在任中、北朝鮮弾道ミサイル対処、ソマリア沖海賊対処、ハイチ及び南スーダンPKO派遣、東日本大震災災害派遣等を実施。

特別講演



ローレンス・フリードマン
ロンドン大学キングズ・カレッジ副学長

英国の安全保障問題の権威。英国国際戦略問題研究所、英国王立国際問題研究所等を経てロンドン大学キングズ・カレッジ教授。英国ブレア政権の外交政策アドバイザー。著書「戦略:歴史」等多数。

プログラム

09:30-10:15	開会・基調講演
10:30-11:50	第1部：第一次世界大戦期の統合・連合作戦
11:50-13:00	休憩
13:00-13:40	特別講演
13:45-15:40	第2部：第二次世界大戦期の統合・連合作戦
15:40-15:55	休憩
15:55-17:50	第3部：統合・連合作戦の理論と実践—1945年以降
17:50-17:55	閉会

発表者

グラハム・ダンロップ（英国海兵隊退役大佐）
 デヴィッド・スティーンソン（英国ロンドン大学LSE教授）
 ウィリアムソン・マーレー（米国オハイオ州立大学名誉教授）
 ダニエル・マーストン（オーストラリア国立大学教授）
 塚本勝也（防衛省防衛研究所防衛政策研究室主任研究官）
 カーター・マルケイジアン（米国陸軍大学教授）
 トシ・ヨシハラ（米国海軍大学教授）
 石津朋之（防衛省防衛研究所戦史研究センター国際紛争史研究室長）
 （発表順）

※ 参加予定者を含め、会議の内容は変更されることがあります。

〔日 時〕 平成26年9月17日(水) 9:30～17:55 (開場9:00)
 〔会 場〕 ホテル椿山荘東京 ホテル棟1階 ボールルーム
 東京都文京区関口2-10-8 TEL:03-3943-1111 (代)
 〔定 員〕 300名 (入 場 料) 無料 ※ 午後のみ等の部分的な聴講も歓迎です。

戦争史研究国際フォーラム 聴講お申し込み方法

【はがきによるお申し込み】 はがきにて聴講券をお送り致します。

はがきに①～⑤をご記入し、下記の宛先へお送り下さい。

- ①郵便番号・住所
- ②氏名
- ③電話番号（若しくはFAX番号）
- ④Eメールアドレス
(Eメールによる聴講券送付希望の場合)
- ⑤勤務先・所属

宛先：
 〒100-8779 日本郵便株式会社
 銀座郵便局 局留
 「戦争史研究国際フォーラム応募係」

※ ③④⑤は任意項目です。
 ※ はがき1枚で1名のみ有効

【WEBによるお申し込み】 電子メールにて聴講券をお送り致します。

WEBお申し込みフォーム <https://www.history-forum.jp>

お申し込み受付後、開催約1週間前に「聴講券」を郵送もしくはEメールにてお送り致します。

(お申し込み期限：9月3日(水))

【会場案内図】

